

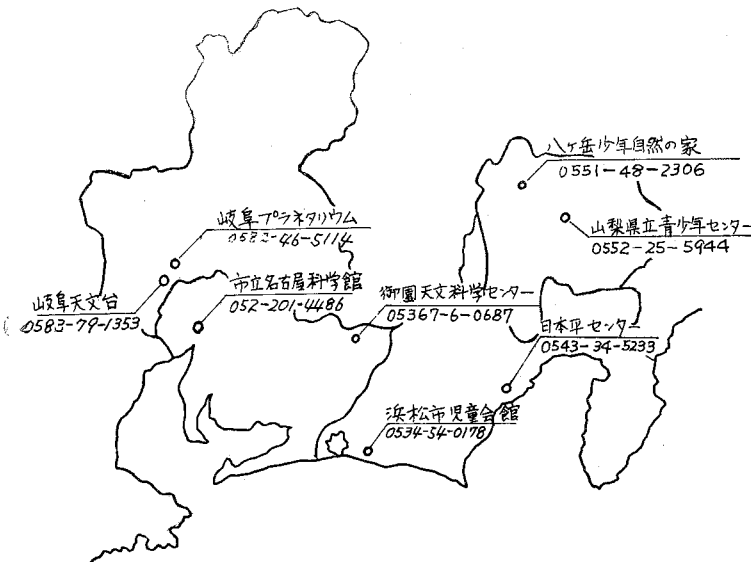
◇ 5月の天文暦 ◇

日時	記	事
3 15	下弦	
5 19	月最遠	
6 12	立夏 (太陽黄経 45°)	
11 16	朔	
17 9	水星東方最大離角	
18 19	上弦	
21 5	月最近	
22 1	小満 (太陽黄経 60°)	
25 15	望	
30 5	水星留	

☆ 天文教育施設めぐり (IV) ☆

中部地方南部地区

中部地方南部にも大小いくつかの天文施設があるが、東から順に見てゆくと、まず山梨県立青少年センターが



ある。ここでは五藤光学製 M-1 型プラネタリウムが設置され、日祝日を除き無料で公開されている。また、県立八ヶ岳少年自然の家ではミノルタ製プラネタリウム Mo-6 P 型が昭和48年8月より公開されている。

次に静岡県では富士観光日本平センターが最も古く、昭和35年5月に公開されて以来、五藤光学製 M-1 型プラネタリウムと 20 センチ屈折赤道儀が活躍している。この施設は富士観光 K.K の経営で、いわば私企業なのだが、社長石川氏の理解と努力が実を結び実現されたものである。

静岡県にはこのほか静岡市立児童館 (もと県立) にアマチュア天体写真の先駆者である清水真一氏の 10 センチ屈折機があったが、最近ほかに移された由と聞く。また浜松市児童会館には興和光器 K K が製作した異色のプラネタリウムがある。次に愛知県に入るとまず豊川市図書館にミノルタ製 Mo-6 P 型プラネタリウムがあり、東栄町御園天文科学センターでは数多くの小型望遠鏡が設置され、アマチュアに対する観測指導が行なわれている。次に施設の規模、利用者数など最大を誇るのが名古屋市の市立名古屋科学館である。(自館自費で申しけないが) ツアイス製 4 型プラネタリウム、30センチ・シーロスタット、日本光学製 15センチ屈折赤道儀、などを始め天文関係展示室はもちろん理工化学関係展示品 450 点を網羅する地上 9 階地下 2 階の本館を併設している。

さて、岐阜県では岐阜市水道山に東独製中型プラネタリウムが設置され公開されていたが、現在では専任解説者も不在でほとんど活用されていないのは残念である。これに対し、正村一忠氏の設立された岐阜天文台で日本光学製 25センチ屈折機が偉容を誇っているのは、この地方のアマチュアにとって誠に心強い限りといえよう。(山田博)

